

2022年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では、カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢ふり返り」として5項目を6件法によって調査し、それらを1~6点に換算して平均値を算出した。また、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」と回答した者の合計（以下、「ややそう思う」以上）、および、「全くそう思わない」と回答した者の全体に対する割合は下記の通りである（回答数：207）。なお、カッコ内は前年度の結果を示している。

すべての項目において、「ややそう思う」以上が5割を超え、「全くそう思わない」は0.9~6.2%の範囲であった。このことから教育課程の編成・実施の方針に照らした教育の取り組みは概ね適切と判断できる。しかし、その結果、5項目中3項目において、平均値は前年度を下回っている。そのため、各ゼミ等において、各人の学修および学生生活の反省を促す働きかけを行い、その上で、それらを記録するように指導を行う必要がある。

1. アクティブラーニングを取り入れた多様な教育科目を受講し、主体的な学びを行っている

平均値：3.99 (4.07)

「ややそう思う」以上：72.4% (76.5%)

「全くそう思わない」：0.9% (0.8%)

2. ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる

平均値：3.46 (3.40)

「ややそう思う」以上：51.2% (42.9%)

「全くそう思わない」：6.2% (2.5%)

3. ユニバーサルパスポートを活用し、教員の双方向のコミュニケーションを密にすることで学修成果を高めようと取り組んでいる

平均値：4.11 (4.37)

「ややそう思う」以上：76.3% (86.6%)

「全くそう思わない」：2.8% (0.8%)

4. PBL (Project and Problem Based Learning)に取り組み、高度な問題発見・問題解決能力を養っている

平均値：3.85 (3.82)

「ややそう思う」以上：66.1% (63.0%)

「全くそう思わない」：0.9% (1.7%)

5. 知識・技術の確実な定着のために、講義科目のみでなく、実習科目にも取り組んでいる

平均値：4.17 (4.37)

「ややそう思う」以上：76.3% (87.4%)

「全くそう思わない」：1.4% (0.8%)

